

海田西小学校
通級指導教室だより No.11
令和3年 1月 6日(水)

冬休みもあっという間に終わり、いよいよまとめの学期となりました。
かがやき教室では、課題をしぼって取り組んでいきます。
子ども達と、進級に向けて今何をすればよいのか話し合い、残りの日々を充実したものにしていきたいと考えています。

かがやき教室では・・・

指示を出す時、こんなことに気をつけています

① 複数の指示を同時に出さない

例えば・・・

「新聞玉を片付けたら、タイマーをセットして、着席しましょう。」

この場合、3つの指示を一度に聞き取らないといけません。

聞く力がまだ十分ついていない場合、前半に言われた内容を忘れ、何もせずに着席してしまうことがあります。

聞き取れるようになるまでは、指示は1つずつ簡潔に伝えていくようにしています。

② 突然言わない

「お願いがあります。」や「今から大事なことを2つ言います。」など、前置きをして、子どもの注意をひいてから話します。

こうすることで、聞きのがしが減ります。

③ 曖昧な表現を避ける

具体的に伝える

N G ×	O K ◎
<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと待って。 ・後でね。 ・ちゃんと掃除して。 ・もっと食べて。 ・きれいに片付けて。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3分間、〇〇をして待ちましょう。 ・10時になったらやりましょう。 ・上ぞうきんで、机を10台拭きましょう。 ・後1個食べましょう。 ・はさみと色鉛筆は、お道具箱に入れましょう。

ビジョントレーニングって何？

通級指導教室で、毎回おこなっているビジョントレーニング。一体どんなものなの？と思っておられる方もいらっしゃるかもしれません。ビジョントレーニングとは、物を目で捉える力・目から取り込んだ情報を正しく脳で処理する力・情報に合わせて体の動きを調整したりする力を高めるトレーニングです。

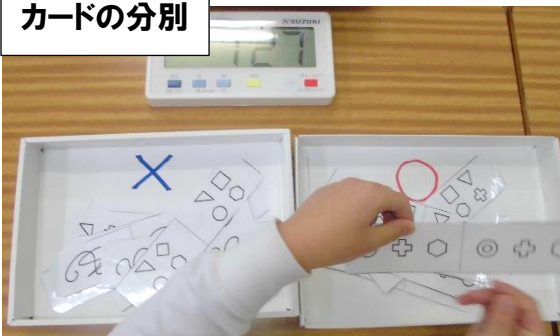
「見る力」が弱いと、例えば下記のようなことがおこりやすくなります。

- ・ 板書をノートに書くことが苦手
- ・ 写生など、見たままの状態を絵に描くことが苦手
- ・ 音読の時、文字や行を読み飛ばす
- ・ 定規の目盛りが読めない
- ・ 漢字がなかなか覚えられない
- ・ 算数の図形問題が苦手
- ・ 運動に不器用さが見られる など

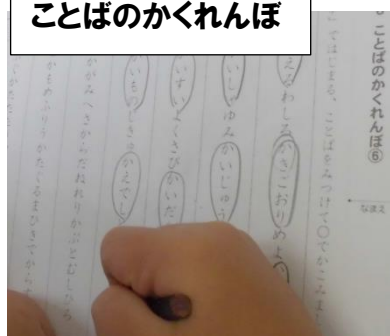


そこで、通級指導教室では、さまざまなビジョントレーニングを行っています。

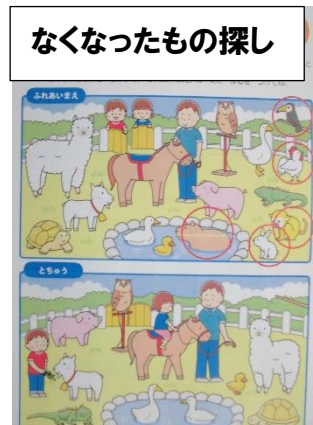
カードの分別



ことばのかくれんぼ



なくなったもの探し



「見る力」の弱さが原因の場合、子ども自身も「ものすごく気を付けて頑張っているのにできない。」「やりたいのに、うまくできない。」など、大きなストレスを感じています。

さらに、本人の努力不足ではないのに、「頑張りが足りない。」「やる気がない。」と思われて、叱責されることもあるかもしれません。

それが積み重なると、自己肯定感や学習意欲も低下してしまうので、周囲の理解がとても大切です。小さなことでも褒めてもらえたり、努力や良い言動を認めてもらえることで、どんな行動が良いとされるのか判断がしやすくなります。

また、身近な大人に褒めてもらえると、子どもの意欲がさらに高まり、頑張る気持ちが持続します。

通級指導教室では、ハードルを高くしすぎず、スモールステップで取り組んでいます。特に、子ども達が楽しんでトレーニングできる環境づくり・やってみたいと思える教材づくりを心がけています。

子ども達の困難さやストレスを軽減できるよう、取り組んでいきますので、今後とも引き続き、ご協力よろしくお願い致します。

